

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成19年度)をご参照下さい。

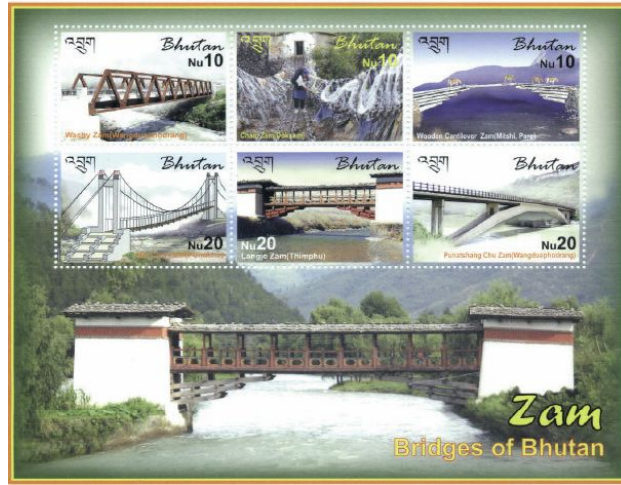
無償資金協力に係る事後評価票

担当公館名：在インド日本国大使館																			
国名：ブータン王国	案件名：橋梁架け替え計画																		
E/N署名日：2001年5月8日	供与限度額：17.13億円																		
先方実施機関：公共事業定住省道路局	完工日：2003年10月24日																		
他の関連協力：																			
1. 案件の目的 (B/D時の目標・想定効果を記載)	<p>ブータン政府は「第8次五カ年計画」(1997年～2002年)の中で、住民の基本的生活の保護、全国規模での経済発展及び均衡ある地方の開発を目標としており、その重点施策として幹線道路の改修整備と地方アクセス道路網の充実、老朽化した橋梁架け替え等を実施することを目標としていた。</p> <p>本プロジェクトは、上記計画目標達成を目指す国土基盤整備の一環として、信頼性の高い道路ネットワーク確保を図ることを意図し、国道上のボトルネックとなっている老朽橋梁を安全確実な橋梁に架け替えることを目的とするもの。</p>																		
2. 案件の内容	<p>上記目的達成のため、ブータンの橋梁架け替えプロジェクト実施に資するため、架橋後25年を経過しており、橋梁本来の機能が大幅に低下している国道1号線及び4号線に架かる5カ所(Kuri橋、Chamkar橋、Bjee橋、Wachy橋、Mangde橋)の橋梁建設(取付道路、旧橋解体撤去を含む。)に必要な資金を提供したものである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>橋梁名</th> <th>橋長</th> <th>橋幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Kuri橋</td> <td>54.0m</td> <td>6.3m</td> </tr> <tr> <td>Chamkar橋</td> <td>50.0m</td> <td>8.3m</td> </tr> <tr> <td>Bjee橋</td> <td>43.0m</td> <td>6.3m</td> </tr> <tr> <td>Wachy橋</td> <td>50.0m</td> <td>6.3m</td> </tr> <tr> <td>Mangde橋</td> <td>95.2m</td> <td>6.3m</td> </tr> </tbody> </table>	橋梁名	橋長	橋幅	Kuri橋	54.0m	6.3m	Chamkar橋	50.0m	8.3m	Bjee橋	43.0m	6.3m	Wachy橋	50.0m	6.3m	Mangde橋	95.2m	6.3m
橋梁名	橋長	橋幅																	
Kuri橋	54.0m	6.3m																	
Chamkar橋	50.0m	8.3m																	
Bjee橋	43.0m	6.3m																	
Wachy橋	50.0m	6.3m																	
Mangde橋	95.2m	6.3m																	
3. 案件の妥当性	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>詳細評価：鉄道や飛行機といった代替手段のないブータンにおいて道路は国の発展を担う根本的なインフラである。このため、現在まで我が国の援助方針において、「経済基盤整備(道路網整備)」を重点分野としている。また、ブータンの5カ年計画においても重点施策として幹線道路の改修整備と地方アクセス道路網の充実が掲げられている。本件によって整備された橋梁はいずれもブータンの幹線道路に架かる橋梁であり、相当程度老朽化が進んでいたことから早急な改修が必要であった。このため、本プロジェクトは時機を得た妥当なものであったと評価できる。</p>																		
4. 施設/機材の適切性・効率性	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A-)</p> <p>詳細評価：本プロジェクトにおいて整備された橋梁はいずれもブータン幹線道路に架かるものであり、適切に利用されている。また、その規模もそれぞれの橋梁の所在地(市街地、村落間など)、使用頻度に応じて設計されており、効率的である。また、住民からも他のドナーのものに比べて耐久性やメンテナンスの簡便性において極めて高い評価を得ている。</p>																		

5. 効果の発現状況（有効性）	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：A-）</p> <p>詳細評価：基本設計調査報告書においては、迂回路を利用した場合の走行距離と所要時間が例示されている。道路局長等から同報告書の記載通り、あるいはそれ以上の効果が発現しているとの評価を得た。また重荷制限についても従来の7～8 tから40 tへと大幅に向上するなど十分な効果が得られている。</p>
6. インパクト（上位目標への影響等）	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：B+）</p> <p>詳細評価：幹線道路の改修整備と地方アクセス道路網の充実は所期の目標を達成しており上位目標へのインパクトも大きいと評価できる。</p>
7. 自立発展性・さらなる改善の余地 (改善の余地がある点については以下に記入)	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：B+）</p> <p>詳細評価：道路局が主体となって必要なメンテナンス、管理が行われており特段改善すべき点は認められない。</p>
(1) 対応方針	
(2) 対応方針理由	
8. 広報効果（ビジビリティー）	<p>全般的評価：A（外部有識者による二次評価：A-）</p> <p>詳細評価：本プロジェクトに係わる記念切手（別添参照）が発行され、また、地域の住民のほとんどが日本の援助による架け替えであることを認知しており十分な広報効果が認められる。</p>
9. 被援助国による評価 (外交的効果についても、本欄に記述する)	<p>ブータン政府、地方行政機関及び受益者たる地域住民からも非常に高い評価を得ている。具体的には、日本の技術レベルの高さ、期限内完工の徹底、施工会社の工事期間中の生活態度に至るまで高い評価を得ている。地域住民の多くは日本という国をテレビ等で知る程度であったが、本プロジェクトの実施を通じて日本人に対する尊敬の念を抱くなど好意的な評価が得られている。</p> <p>ブータンの道路は経済的機能のみならず国民の生命や安全保障にも深く関わるインフラであり、多くの道路がインド政府に管理されているブータンの事情に鑑みれば、インド政府以外が建設し、自ら管理できる橋梁整備は外交的効果も高いと認められる。</p>
10. 提言・教訓	<p>本プロジェクトで整備された5架橋のうち、1橋梁（Chamkar 橋）は歩行者が多いため歩道用スペースを確保していたが、歩道に段差を設けていなかったことなどから、歩行者の通行に危険を感じるとの指摘が寄せられた。</p> <p>メンテナンスのためにも将来的な自立のためにも工事に積極的にブータン側を活用して欲しいとの要望も寄せられた。今後のプロジェクトの実施にあたっては、どのような分野でブータン側の参加を得られるか等に配慮する必要がある。</p>
11. その他	

記念切手

Bridge Issue - 2005



橋梁路面



プロジェクトの銘板

